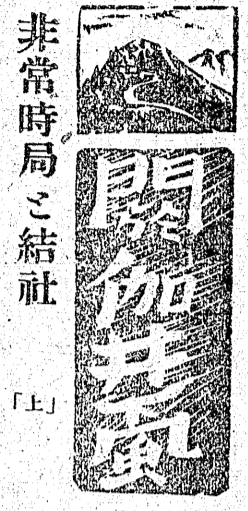


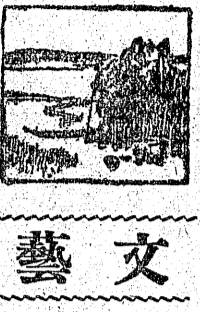
磐城毎日新聞



非常時局と結社

編 沼孝昌

現在の日本は益々重大なる 趨きに向つてゐる。この云ふ重
危局に直向し、内に向つても大なる危局の事であるから、
外に向つても、空前の果敢に 地方を巡視して歩く何々團體
して積極的なる對策を講ぜざ（結社）が多くなつてゐる
を得ない時代に入つて来た。我が平市に既に二三の團體
にも拘らず依然として舊套を 入りこめて皆大會を開いて
脱せず指導精神の顯はれてゐる。相當の團員を募集してゐるや
ない感に至る所が痛感する。うである、これ等の人は多
その爲め民心は甚しく 靡く青年をねらつてゐるやう



鑑賞歌評釋

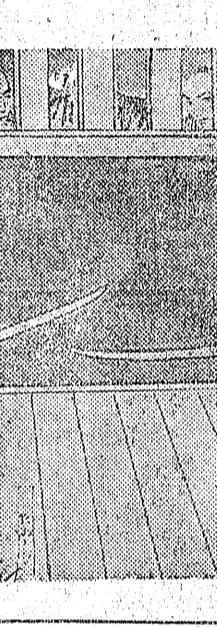
花田比露思 (下)
木下雁次

寂しさは一人の道と諸 族の者を相手に今日の新聞記
事と取りあげて大いに自分
「寂しさはささささと讀ま
してゐるが趣をけぶりともけ
むりとも讀む類で、例のま
ば行音の入れかたはつたも
ある、「歌」はもとだ讀ませ
心境を述べた歌で、俳聖芭
蕉の「この道やゆく人なし
……」と詠じられたのと似
てゐる、誰も自分の考を了解
してゐない、云つても無駄
いつを黙してゐよう。かう思
つた時位寂しい事はない、骨
をけつられるやうな孤独感！
古人が世を捨てて風月を友と
したのもこの孤独感からでは
なかつたか。孔子やキリスト
も幾度この苦い壺を口に
したか、古來聖人とか君子と
かいはれた人には眞の友がな
かつたといはれてゐる、自分
を知る者は自分だけだ
寂しさは人を世をも罵り
てひそかに吾を顧みる時
前の歌と開關するもので、
世間の奴等は皆わけのわから
ん馬鹿どもばかりだ、困つた
う罵つて罵つてもやいな
妻君を前にして大いにノット
ルをあげて見る、もつとも新
体制下の近頃はそんな光景は
見ようにも見られないが、家



異説赤穂浪士

講談 桃川若燕
城木喬



越後を去る
二三日経つた或る日
「とき且那樣、貴方のお國
は何方でございますか」
「拙者は備後三原在、郷士の
御座る。あまり剣術に親し
んで養つて食してしまひ、身
上を潰してしまつて、借財も
出来ないので、國を後にして武
術修業の旅に出たのだ」
「では斯様したら如何でござ
いますか、茲は劍術の大府
流行するところでございますか
此の土地へ道場をお出し
なつては」
「しかし拙者金がない」
「それは手前の方で萬事お世
話いたします」
徳藏も恩人と思ふから金を
出して道場を出してやり、高
張を立て空欄にしては棒の板に
「吾本二刀流指折平八郎と
いふ表札を出した。これ
と見ると、これを知れない米を喰
つてゐる名主の若旦那、或は
長脇差のいらぬ女が弟子に
来る。徳藏初めの店も道中
悪い功主に出逢つても大丈夫
といふので、皆劍術を習ふから
道場は日に増し繁盛す。
しかるに此の高田は戸田能
の家來が通行して見ると吾本
二刀流と書いてあるから戸田の
藩中強がりやには面白くない。
中にも鶴見藤左衛門、佐藤英
十郎、鈴木平四郎、川島五郎
と云ふ面々、日頃から戸田の
四天王と誇つてゐる連中、
「鶴見、小林平八郎と申す者
の道場を見たか、棒の板に宮
本二刀流と記してある、大方
宮本武藏を取つてゐる奴に
違ひない」

こみ合へる電車の間に
ちぢこまる
ゆふゆふゆふの我がいと
さ
心好く
人をほめてみたくなりけ
り
利己の心に倦めるさびさ
さ
心好き疲れなかな
息もつかず
仕事をしたる後のこの疲れ
打明け
語りて何か損をせしごとく
思ひて友とわかれぬ
朝霞して新聞讀む間なかり
眞實のごとく
今日も感ずる

「如何にも然らうであらう」
「どうだ、我がが他流試合を
申込められたら仕方がない弟
子になり勝つたらア、道場名
札を引外して来ようではな
いか、此の城下を頼らう宮本
二刀流指折平八郎と名を
「ア、如何にも上見ぬ驚の振
舞、行かう」
といき込んでゐる四人早速
道場に来て平八郎と手合せ
をして見ると、どうして平八
郎は腕前は美事なもの、四人
も二刀と合せ内に叩きつ
けられ呆々の態で歸つて来
た。それ手前の方で萬事お世
話いたします」
四人の連中どうも面白くない
これは寧ろ小林平八郎を初
めにしよと聞かされたのが伊
勢屋徳藏、這は一大事と飛ぶ

新刊書籍

月刊雑誌
三英堂
村山書店

梨羊羹

小川前
平屋賣店

鑛泉と割烹

鐵道指定旅館
小瀧

シミーガンシ

シミーガンシ
販賣代理店

家毎に神様を祀りませう

三寶神鏡升入二層神各種
其他御宮神鏡を陳列致しました

根本産科醫院

入院隨時
根本貞次郎
根本貞雄

味の種

醬油、鰯節、砂糖の經濟
白菊酒店

四倉

平四倉
合名會社

故障の起る・原口のラジオ

放送局認定ラジオ受信機特賣
古山電氣商會

優待券

一月廿二日二日間
松竹平館

愛讀者慰安映畫會

天狗廻狀大會
松竹平館

マルトモ食堂

大小の御宴會にホイル
御家族の御同伴に御座敷

木村醫院

内科、外科、小兒科
電話三〇九番

松村醫院

外科、整形、皮膚科
電話七〇一

石炭増産強調期間

季節労働者の歸郷に備へ 勤勞報國隊來援計畫

一月から三月まで實施される「全國石炭増産強調期間」に...

新學期から青校も 義務制實施

來る四月の新學期から義務制を實施する青年學校が...

資源開發資料調査に 君島元知事來郡

小名濱港第二期工事建設の...

新任鈴木部長 初巡視

新任鈴木部長の初巡視は...

江名の國民稅 戸數割の五分一賦課

江名町では今二月九日午前...

區内會長は 縣の許可

但し推薦は認められた...

開業醫の新体制に 看護婦學校開設

仁術を其生命とする開業醫の...

時代表を映す『明治、大正、昭和』 流行歌の變遷史

福島縣第一回回演劇家...

中島湖洲述

壯烈なる行動に依り廣瀬少...

市農業倉庫の 通常總代會

平市農業倉庫第十六回通常總...

防空防火宣傳

江名町防空防火宣傳會は...

再選要望も 任期満了の江名町長

江名町長作山一氏の任期は...

櫻井金三兵衛 櫻井金三兵衛

江名町長櫻井金三兵衛は...

少年剣士の 寒稽古開く

平第一小學校では二十三日...

常陽銀行異動

濱通り支店支店長...

常會結成

石炭増産報國隊は...

平市慶弔錄

出生△本館平市大字...

愛讀者慰安映畫會 今晚から開演

本紙愛讀者慰安映畫會は今...

國民學校の 精神徹底

平第一小學校では國民學校の...

豆撒きも 物資愛護の建前

恒例の立春大吉を祝ふ豆撒き...

役員決定

平市第十五區湖洲の區内會...

常陽銀行異動

濱通り支店支店長...

常會結成

石炭増産報國隊は...

平市慶弔錄

出生△本館平市大字...

愛讀者慰安映畫會 今晚から開演

本紙愛讀者慰安映畫會は今...

國民學校の 精神徹底

平第一小學校では國民學校の...

常陽銀行異動

濱通り支店支店長...

常會結成

石炭増産報國隊は...

平市慶弔錄

出生△本館平市大字...

愛讀者慰安映畫會 今晚から開演

本紙愛讀者慰安映畫會は今...

國民學校の 精神徹底

平第一小學校では國民學校の...

常陽銀行異動

濱通り支店支店長...

常會結成

石炭増産報國隊は...

平市慶弔錄

出生△本館平市大字...

愛讀者慰安映畫會 今晚から開演

本紙愛讀者慰安映畫會は今...

國民學校の 精神徹底

平第一小學校では國民學校の...

常陽銀行異動

濱通り支店支店長...

自肅休業

平商會並に市内各商業組合幹部...

平市各商店各位 御得意様各位

市内各商店各位...

衣晴の亞興 服民國

一着万能 儀場に 儀場に...

木炭不足を補 黄金燃料素

木炭一俵四貫用僅かに拾...

油のシミでも垢でも 採ます落る垢トール

毛織物・生糸・木綿物・絹物...

平病院

院長 鈴木定藏 内科、小児科...

大丸屋呉服店出張實用期節品販賣

お馴染みの公益優先、商業報國...

味の園

平三田小路 味の園...

トシ子

味の園...